

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保育所改修事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	村山 智章			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公立保育所の維持管理	意図	保育所の建物の老朽化により、持続し維持するため改修を行う。
事業内容	入所児童の安全安心はもとより、災害時における避難場所としての機能を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	計画的に公立保育所の整備・改修を行ってきた。平成21年度1か所改修、平成22年度 向小金保育所廊下補修、平成25年度 江戸川台保育所屋上防水及び外壁塗装、平成27年度 江戸川台保育所隣地側境界ブロック補修、平和台保育所床改修、平成28年度 向小金保育所屋上防水及び外壁塗装、平成29年度平和台保育所屋上防水及び塗装改修工事、平成30年度 東深井屋上防水及び外壁塗装、平和台保育所ブロック塀改修			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	施設改修等の保育所数	1	1	2	箇所	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

公立保育所5箇所の全ての屋上防水及び外壁塗装改修工事が終了した。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

公立保育所の全ての建物の耐震は終了したが、ほとんどが築40年以上の建物であることから、今後、計画的に外壁及び内装、屋根の補修等が必要となる。

平成30年11月に策定した「流山市子育て支援施設の個別支援計画」に基づき、平和台保育所の木造平屋建てについては、次期総合計画において維持保全や建て替えを検討する。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	17,782,900	11,154,134	22,648,000
事業費(b)(円)	17,096,400	10,482,934	21,988,800
うち一般財源	17,096,400	10,482,934	21,988,800
職員給与と費(c)(円)	686,500	671,200	659,200
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	向小金保育所の公共下水道本管接続工事を行う。	③取組における課題(Check)	改修工事は、入所児童を年間受入れるため、タイミングを検討する必要がある。H30年11月策定の個別施設計画の策定において平和台保育所の木造建築部分の詳細診断を実施すること
②H30に実施した取組(Do)	実施計画に基づき、東深井屋上防水及び外壁塗装を行ったほか、危険個所の点検を行い、平和台保育所ブロック塀の改修を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	向小金保育所の公共下水道本管接続工事を行う。平和台保育所の木造建築部分の詳細診断を実施し、結果により長寿命化改修を検討する。